

E-Welfiss 及び防災無線機を活用した情報伝達訓練 実施結果

1 実施概要

- (1) 日 時 令和4年12月22日(木) 9時30分～11時30分【防災無線機】
13時15分～14時30分【E-Welfiss】
14時40分～15時15分【局内振り返り会】
- (2) 想定災害 令和4年12月22日(木) 9時05分発生
川崎市直下地震(最大震度6強)
※発災直後に停電、電話・インターネット回線一時不通
- (3) 使用ツール E-Welfiss・防災無線機(電話)

2 訓練参加状況

- (1) 9時30分～11時30分【防災無線機】
- ・老人福祉施設 61／78施設中
 - ・障害福祉施設 9／11施設中
 - ・地域相談支援施設 47／52施設中
 - ・地域支援室 3／3室中
- 福祉施設等 計120／144施設中
- ・各区支所高齢・障害課 9／9部署中
- ・局内各部署(事務局除く) 3／3部署中
- 市側部署 計12／12部署中
- 合計 132／156施設・部署中
- (2) 13時15分～14時30分【E-Welfiss】
- ・老人福祉施設 69／102施設中
 - ・障害福祉施設 8／19施設中
 - ・地域支援室 3／3室中
- 福祉施設等 計80／124施設中
- ・関係団体 2／3団体中
- ・各区支所高齢・障害課 9／9部署中
- ・局内各部署(事務局除く) 4／4部署中
- 関係団体・市側部署 計15／16団体・部署中
- 合計 95／140施設・団体・部署中

3 訓練対応状況

(1) 災害福祉調整本部（各部）から危機管理担当への所管施設の被害状況報告【防災無線機】

- ・地域包括ケア推進室 11時32分報告完了
- ・長寿社会部 11時50分報告完了
- ・障害保健福祉部 11時00分報告完了

(2) E-Welfiss の対応状況

- ・支援要請（SOS） 17件（対応中1は2件、対応中2は1件、対応済みは14件）
- ・被害報告 69件
- ・連絡（スレッド数） 46件

【訓練】[12/22情報伝達訓練]川崎市直下地震

災害種別

震源地

震害（本震）

発生日時

地震

川崎市

6強

2022/12/22 09:05

トップ画面

市からのお知らせ

2022/12/22 14:35

【重要】訓練お疲れ様でした。この文章をクリックし、アンケートの御回答をお願いいたします。アンケートの回答締め切りは12月27日（火）です。

2022/12/22 14:30

【重要】本日の情報伝達訓練を完了いたします。御参加いただきありがとうございます。

2022/12/22 14:20

本訓練でシナリオ協力施設の皆様に付与した内容を公開いたします。添付ファイルを御確認ください。

2022/12/22 11:35

【重要】シナリオ協力施設（計8施設）は、「連絡体制を確立する」ボタンを押下後、「支援要請（SOS）」から要請内容を入力してください。「支援要請（SOS）」の入力が終わりましたら、「被害報告」から被害の詳細を入力してください。

2022/12/22 11:30

【重要】13：15より午後の情報伝達訓練（E-Welfissフェーズ）を開始します。すべての施設等は、システムへログインしましたら「連絡体制を確立する」ボタンを押下して

最新情報

2022/12/22 14:37

【重要】「所管区内施設」及び「災害福祉調整本部」を宛先にして次の内容を「連絡」機能を用いて送付ください。送付後、所管区内の支援要請の内容・上記支援要請に対し、どのような調整・対応を行ったか。各区支所高齢・障害課においては、以上の送付をもって訓練終了となります。また、すでに御対応いただいている場合には参考送付です。よろしくお願いいたします。

2022/12/22 14:30

衛生学園に電気自動車を送付しました。

2022/12/22 14:26

所管区内の支援要請については、介護老人福祉施設 大師の園から「職員の手配率が低い。夜勤対応可能な人員を1名お願いしたい。」と要請あり。支援要請に対し、川崎区内の他の施設に支援要請をしました。川崎区内の慈善系の施設から応援可能と連絡あり、慈善系の施設から1名応援に派遣となり終了しました。

支援要請中 17施設

被害報告 被害あり 28施設

被害なし 41施設

二次避難所 開設中 0施設

ショートステイ 開設中 0施設

支援要請（SOS）

支援要請

被害報告

二次避難所・ショートステイ

連絡

地図情報

その他

【訓練】[12/22情報伝達訓練]川崎市直下地震

災害種別

震源地

震害（本震）

発生日時

地震

川崎市

6強

2022/12/22 09:05

連絡機能画面

連絡機能

メイン画面へ戻る

新規連絡作成

絞り込み設定

部署

連絡種別

カテゴリ

発信・受信区分

☐ 至急のみ
☐ 重要のみ
☐ 優先のみ

☐ コメントまで検索対象とする
☒ 対応済も表示

優先	発信者	受信者	内容	ステータス	連絡ID	作成日時	更新日時
	(特異) 特別支援老人ホーム 瑞穂 ほかの10施設	(特異) 特別支援老人ホーム 瑞穂 ほかの10施設	【至急】【重要】【指示・要請】 そんなの承新百合ヶ丘で人的応援を求めています。運営応援で、詳細は不明です。確認して連絡します。	完了	0040-00	2022/12/22 14:35:50	2022/12/22 14:41:53
	(高) 高 障害者支援センター 瑞穂 ほかの10施設	(特異) 特別支援老人ホーム 瑞穂 ほかの10施設	【連絡】 要請を受け、保健師1名、看護師1名の派遣を行いました。	連絡済	0042-00	2022/12/22 14:40:59	2022/12/22 14:40:59
	(特異) 特別支援老人ホーム 瑞穂 ほかの10施設	(特異) 特別支援老人ホーム 瑞穂 ほかの10施設	【至急】【指示・要請】 麻生区にて被災施設から施設があります。自施設で問題なければ、応援可能な連絡をお願いします。13：54現在 高齢 虹の宝、金井緑苑、ラビール石炭台 障害 川崎市神生学園 二次避難所 北部地域支援室	完了	0017-00	2022/12/22 13:56:13	2022/12/22 14:34:10

4 局内振り返り会

(略)

5 アンケート

- (1) 回答期間 訓練終了後～12月27日(火)まで
- (2) 回答数 64件
- (3) 回答内容 別紙参照

6 まとめ

・E-Welfiss 及び防災無線機の操作は比較的円滑に行えており、複数のツールを使用した被害状況等の情報伝達は概ね問題なく実施できた。操作習熟度を向上させるため、今後も定期的な訓練を実施する。

・一部施設において、E-Welfiss を利用した近隣施設との物資搬送訓練が実施され、各施設間の相互支援を行うにあたり、E-Welfiss の機能が有効活用できることが確認できた。

・訓練時のみでなく、防災無線機で報告すべき内容や受発信ルールを予め決めておき、市及び各区と各施設等で共有しておくことで、災害時の連絡及び報告がより円滑になると想定される。また、支援要請や被害報告に対する災害福祉調整本部としての対応等、具体的な例やルールを示すことも必要であるため、ガイドラインやマニュアルの記載内容を検討していく。

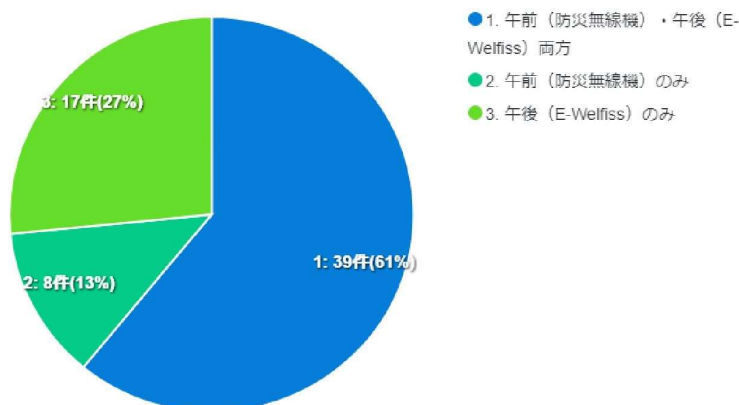
令和４年１２月２２日（木）実施 E-Welfiss及び防災無線機を活用した情報伝達訓練 アンケート結果

※記述式項目に記載いただいた内容は、一部を抜粋・集約してまとめています。

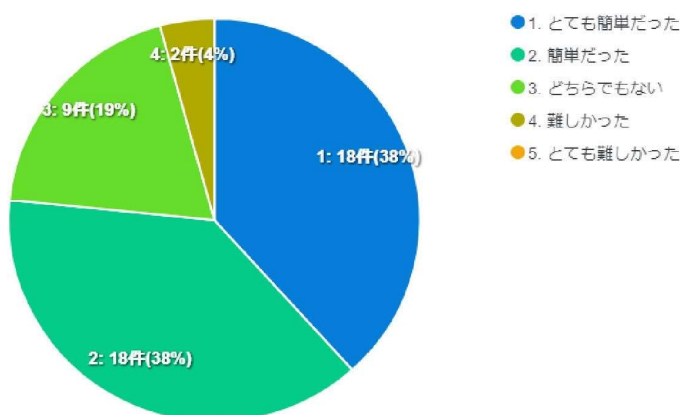
アンケート実施期間 １２月２２日（木）～２７日（火）

アンケート回答数 ６４件

Ｑ２．訓練に参加した時間帯



Ｑ３．午前（防災無線機）の訓練はいかがでしたか？



Ｑ４．午前（防災無線機）の訓練に関して、気が付いた点やご意見・ご感想があれば入力してください。

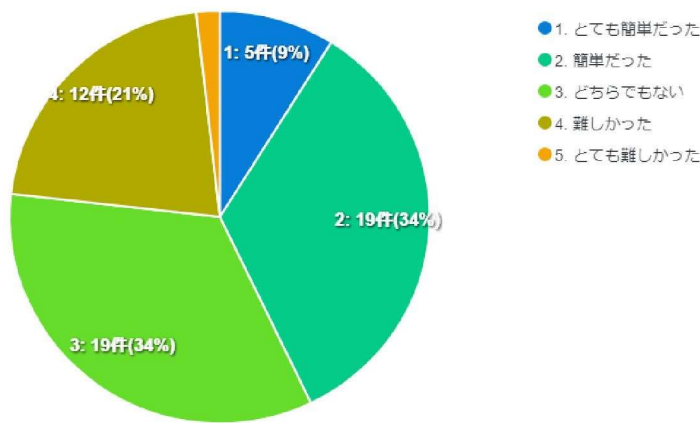
〔各施設等〕

- ・無線機の電波の影響と思われるが、全体への連絡のなかでも聞き取れるところと聞き取れないところがあった。
- ・操作を誤ってか、電波の問題か、スピーカーマイクの問題か、こちらの送信が先方で受信できていないことがあった。初めて操作することも想定されるため、操作や機能、コールのルールも都度確認できると良いと思う。
- ・今回の訓練では個別通信を行うこととされていたが、無線機に区グループの設定がされており、区グループの通信内容を受信していたため、実際に対応しなければならない通信との区別が難しかった。
- ・どのような事態（災害）になれば実際に無線連絡が入ることになるのか、この機に再確認したい。
- ・無線通信のモード設定、設定方法についての簡潔な説明書が欲しい。
- ・いつも行っている通信訓練を変わらなかった。防災訓練であれば１ターンのやりとりだけでなく、緊急相談のやりとりや施設間連携のやりとりなど被災を想定した訓練も必要なのではないか。

〔災害福祉調整本部、各区支所高齢・障害課〕

- ・最後の高齢者事業推進課への報告の際、当区は伝達事項が多かったためか、事推から報告した内容すべてについて確認を求められた。伝達スピードや声量、明確さに問題があったのか、それとも伝達方法を施設ごとに区切るべきだったのか等が不明なので、その点を教えていただけたらありがたい。
- ・災害福祉調整本部への報告では、時間指定がなかったためなかなかつながらず、発災時は通信中でつながらないことがあることを確認することができた。
- ・市側、施設側ともに報告すべき内容が浸透しているのか？報告内容が事前に決まっていなくて、何度もやりとりを行うことになってしまう。

Q 5. 午後（E-Welfiss）の訓練はいかがでしたか？



Q 6. 午後（E-Welfiss）の訓練に関して、気が付いた点やご意見・ご感想があれば入力してください。

【各施設等】

- ・「連絡」内の「了解」「完了」の使い分けや押下するタイミングがよく分からなかった。
- ・派遣依頼から地図で場所を確認し、事業所からの距離と道路状況を想定して返答できることが特に便利に感じた。一方で、要請されている事業所がどのような人材を求めているのか確認をしてから返事をするべきであったと反省した。
- ・「SOS」を出された施設にメッセージを立ち上げて応援連絡を実施しようとするも、しばらくすると「SOSが対応済み」となっていた。電話で問い合わせ、解決した経緯を確認するも、先方からは「SOSを発信した後は、何も対応していない」との返答あり。①SOS対応済みになった操作について、その操作方法を確認したい。②知らない間に対応済みになってしまったことで、本当に援助が必要かどうかの判断基準が不明となり、結果電話対応が必要となってしまった。マニュアル確認不足の問題もあると思うが、使用している各施設への周知の必要性も感じた。
- ・基本操作、基本ルールを訓練の都度確認できると良いと思う。
- ・まだ操作方法や入力内容に慣れていない面があるので、習熟するまで繰り返し訓練を実施してほしい。
- ・人員の支援要請を依頼したが、途中経過のないまま「対応済み」となっており、いつ、だれが、何名来るのか等、何も分からないまま終わってしまった。実際にこういった流れで支援をして下さるのか、知りたかった。
- ・リアルタイムで連絡を取りあえることで状況把握しやすい。回線や電気がないと非常時に使用できなくなってしまうのは難点。
- ・被害施設が応援要請を出す際は希望内容を具体的に発信してほしい（人なのか物資なのか）。
- ・シナリオ対応施設でシナリオ通り入力したが、もっと具体的に記入が必要であると感じた。（支援要請の職種・業務内容・日時・期間等）
- ・行政や他の施設からの応答があった場合に、もう少し目立つようなサインがあれば有難い（B e e p音が鳴るなど）。他の作業中でも、音声等があれば、すぐに気付いて対応が可能になると思う。

【災害福祉調整本部、各区支所高齢・障害課】

- ・メッセージを受信した際に、受信したことがわかりずらくメッセージを見逃しそうになった。1回では使いこなすことができず、何度もシステムを触ってなれることが大切だと感じた。
- ・市の支援物資の保管場所、保管量、どのように支援の必要な施設へ分配が可能なのか、停電や水道の復旧にあたり、どこへどのように連絡をすればよいのか、具体的な動き方が分からなかった。
- ・支援要請への対応等について、マニュアルに具体例の記載がないので、初見の職員では理解が出来ないと思われる。
- ・前回も参加したため多少E-Welfissの要領は得ていたが、本システムがスムーズに使用できることを前提とした訓練のあり方には、正直、疑問を感じる。
- ・マニュアルには目を通したが、実際に運用してみるとシステムの使い方が複雑で、相手方にどう伝わっているのかが分からず難しかった。
- ・「対応入力」画面の記載ルールが初期表示されていると、入力しやすいと思った。

**Ｑ７．訓練全体を通して、気が付いた点や感想などがあれば入力してください。
(実施時期、時間帯、実施方法に関することなど何でも構いません。)**

【各施設等】

- ・1年に1回の訓練では電波の不調か機材の不調かの判断が難しい。
- ・訓練を通して、災害に対して積極的に捉えず受け身の施設、もしくは現実的に捉えていない施設との温度差が生じている可能性もあると感じた。もしくは災害等に連携したいと考えているが、日々の業務多忙やコロナ禍等もあり連携を作るきっかけがない状況が生じていることも要因と感じた。今回の訓練を通して、班長として区単位での災害時の状況把握がとても難しいことを経験した。日ごろ連絡体制を構築できず、関係性の乏しいことが露呈してしまった結果とも感じた。訓練後に実施した物資移送訓練がその解決策に繋がる可能性が有ることも感じた。連携できる近隣施設を小グループ化し共助する関係性を作り、災害時はその状況把握を試みる。必要な災害援助を行い、さらに大丈夫であれば区内の別の小グループに連絡をとり必要な援助を行う。組織図としては逆ピラミッドを形成し頂上に小グループ組織を並べ、その小グループ中でそれぞれが助け合う役割を明確にすることで、お互いの関係性がつくられるきっかけになると考えた。課題はたくさんあると感じたが、地域同士の小グループで連携しあえる関係性により、災害時の初動をスムーズに始められることを経験できたことが今後に生かせる内容であり、実りある訓練にできたと感じた。
- ・防災無線機が正常に作動するかどうかの確認として、定期的な機会は必要かと思うが、具体的な運用について不透明な印象。実際に災害が起きた時に今回のような所内に限定した状況報告のみで良いのか、その後の動きについてもやり取りが必要なのか、共有する機会を持てるとありがたい。
- ・実際に私たちが使用できるようにするために、定期的に訓練を実施していただけると助かる。
- ・午前・午後に分ける必要性は無いのではと思う。
- ・大々的な訓練でなくとも、機器類の機能や操作についておさえるべきことなどを内輪で訓練できる手引きや例があると助かる。
- ・より実効性のある訓練を実施してみてもどうか。支援を必要とする施設とのやりとりを具体的にどのように行うのか。有事の際はそこが重要だと思う。そうした訓練を実施するのも一つの方法かと感じた。
- ・このような機会はとても有意義であると考えている。今後も定期的に訓練を継続して実施してほしい。
- ・今回、事前にマニュアル等読んで準備してできたが、実際には焦り等により、今回のようにいかない事も想定されるので、訓練頻度を増やしてみてもどうかと思った。様々な災害パターンを想定しての対応をお願いしたい。
- ・大まかでよいので各施設に何らかの役割が設定されたシナリオがあれば、訓練のリアリティが高まると感じた。
- ・無線、E-Welfissどちらも参加をしたがどちらも一長一短があるので二つをうまく利用し、円滑に連携をとることが重要だと感じる。
- ・訓練回数をこなすことと、もう少し踏み込んで物資や人員の輸送などまで行うことで、そこまで実施することには負担もあるかと思うが、実際の運用に慣れるのではないかと感じた。
- ・防災無線機からE-Welfissまでの間隔が長過ぎる。可能な限り、午前午後いづれかにまとめた訓練実施を要望する。
- ・被災は時間の想定ができないので事前に通達しないで実施はできないのだろうか。

【災害福祉調整本部、各区支所高齢・障害課】

- ・今回の訓練が区の訓練と直近で実施されたため、各施設から「何故連続で訓練を行うのか」と不満が出た。来年度以降は訓練実施日について、もう少し早く通知して欲しい。
- ・実際に災害が発生した際、E-Welfissを活用しどのように支援に動いていくのか、災害時対応の幹の部分のシュミレーションが不明瞭に感じた。
- ・全施設一斉でなくとも事業種別ごとなどでE-welfissでの伝達訓練を行い、全事業所が入力方法を理解している体制がつけると良いと思う。
- ・もっと多くの職員が訓練に参加できるよう、訓練のあり方等を工夫すべき。
- ・担当の席から防災無線機までやや距離があり、発災時に連絡が入っても音に気付かなかったり、駆けつけるのに多少時間がかかってしまうことがあるかもしれないと感じた。発災時にシナリオなしで防災無線機の使用や、タイムラグなくE-Welfissの入力をするのが難しいと感じ、普段からの訓練が大切だと感じた。